

2017年6月5日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

## 日本初\*、アジア地域のリートを対象としたETFを上場

～ 6月29日東証上場、「上場インデックスファンドアジアリート」～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、日本で初めてとなる\*アジア地域の REIT(不動産投資信託)を投資対象とした上場投資信託(ETF)「上場インデックスファンドアジアリート」<愛称:上場アジアリート、証券コード:1495>を新たに設定し、東京証券取引所に上場します。ファンドの設定は6月22日、上場は6月29日の予定です。



シンガポールや香港、マレーシアといったアジア地域の REIT 市場は、相対的に高い経済成長などに伴う都市化の進展などを背景に、近年大きく成長しています。市場の堅調な推移に加え、分配金利回りも比較的に高い水準にあり、魅力的な投資対象としての注目は年々高まっています。「上場インデックスファンドアジアリート」は、このように魅力高まるアジアの REIT を投資対象とする、日本初の ETF です。

「上場インデックスファンドアジアリート」は、「FTSE EPRA/NAREIT アジア(除く日本)リート 10%キャップ指数」という、日本を除くアジア各国の上場不動産投信(およびそれに類する有価証券)の投資収益を時価総額で加重平均した指数への連動をめざし、主としてシンガポール証券取引所に上場されているシンガポール籍外国投資信託 日興 AM・ストレイツ・トレーディング・アジア(除く日本) リート シンガポールドル建受益証券に投資します。この指数の構成銘柄と組入比率は毎年3月、6月、9月および12月に見直され、個別銘柄の組入比率はリバランス時に最大10%に制限されます。

なお、「上場インデックスファンドアジアリート」が投資対象とするシンガポール籍外国投信は、日興アセットのシンガポール現地法人である「日興アセットマネジメント アジア リミテッド」が今年3月、シンガポール証券取引所に上場したETFであり、当地の投資家の皆様にはこのシンガポール籍ETFを通じてアジア REIT への投資機会をご提供しています。今後も高い成長が期待できるこの資産クラスに、相対的に容易かつ低コストでアクセスできる投資ソリューションを、日興アセットはグローバルベースでお届けしています。

日興アセットはこれまでも、投資家のみなさまのニーズに合致したさまざまなタイプのETFの開発に先駆的に取り組んでまいりました。今後もより一層の商品の充実に努め、幅広い投資機会をご提供してまいります。

\* 日興アセットマネジメント調べ

以上

※「上場インデックスファンドアジアリート」の商品内容については、下記サイトもご参照ください。  
<http://www.nikkoam.com/products/etf/lineup/asiareit>

### ■取引所における売買時のファンド概要

|             |  |
|-------------|--|
| 商品分類        | 追加型投信／海外／不動産投信／ETF／インデックス型                                     |
| 上場市場        | 東京証券取引所  |
| 上場日         | 2017年6月29日(予定)   |
| 銘柄コード       | 1495   |
| 取引所における売買単位 | 10口単位  |
| 信託期間        | 無期限(2017年6月22日設定)  |
| 決算日         | 毎年1月、4月、7月、10月の各20日  |
| 収益分配        | 年4回、分配方針に基づいて分配を行いません。<br>※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 |

### ■手数料等の概要

お客さまには、以下の費用をご負担いただきます。

#### ＜取引所における売買時にご負担いただく費用＞

- 売買手数料 取扱会社が定める手数料とします。詳しくは、取扱会社にお問い合わせください。

#### ＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

- 信託報酬 純資産総額に対して年率0.708%(税抜0.7%)程度
- その他費用 ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を乗じた合計を上限とする額
  - ①目論見書などの作成および交付に係る費用、②計理およびこれに付随する業務に係る費用、③決算短信の作成に係る費用(①～③の業務を委託する場合の委託費用を含みます。)、④監査費用、⑤ファンドの上場に係る費用、⑥「FTSE EPRA/NAREIT アジア(除く日本)リート10%キャップ指数」の標章使用料などは、委託会社が定めた時期に、信託財産から支払われます。
  - ※監査費用は、監査法人などに支払うファンドの監査に係る費用です。
  - 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に0.54(税抜0.5)以内(有価証券届出書提出日現在、税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。
  - ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■ファンド概要

〔直接ファンドに設定・交換を行なう場合のお取扱いです。取引所で売買をされる投資者のみなさまには該当いたしませんのでご注意ください。〕

|           |   |
|-----------|---|
| 取得・交換取扱時間 | 原則として販売会社の営業日の午前 10 時までとします。<br>※なお、受付締切時間が異なる場合がありますので、詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| 申込価額      | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額   |
| 申込単位      | 1,000 口以上で販売会社が定める単位<br>※販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。                          |
| 解約価額      | 解約申込受付日の翌営業日の基準価額   |
| 解約単位      | 1,000 口以上1口単位   |

### <購入・換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料 販売会社が定める手数料とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
なお、当該手数料には消費税等相当額がかかります。
- 換金時手数料 販売会社は、受益者が解約請求を行なうときおよび受益権の買取りを行なうときは、当該受益者から、販売会社が定める手数料および当該手数料に係る消費税等相当額を徴収することができるものとします。  
※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額 ありません。

### <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬 純資産総額に対して年率 0.708% (税抜 0.7%) 程度
- その他費用 ファンドの日々の純資産総額に対して年率 0.1% を乗じた額の信託期間を乗じた合計を上限とする額  
①目論見書などの作成および交付に係る費用、②計理およびこれに付随する業務に係る費用、③決算短信の作成に係る費用(①～③の業務を委託する場合の委託費用を含みます。)、④監査費用、⑤ファンドの上場に係る費用、⑥「FTSE EPRA/NAREIT アジア(除く日本)リート10%キャップ指数」の標章使用料などは、委託会社が定めた時期に、信託財産から支払われます。  
※監査費用は、監査法人などに支払うファンドの監査に係る費用です。  
組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品賃料に 0.54(税抜0.5)以内(有価証券届出書提出日現在、税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。  
※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## ■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、市場取引価格または基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)のみなさまに帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主にシンガポール籍外国投資信託 日興 AM・ストレイツ・トレーディング・アジア(除く日本)リート シンガポールドル建て受益証券への投資を通じて不動産投信を実質的な投資対象としますので、不動産投信の価格の下落や、不動産投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】  
【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## ■その他の留意事項

- 当資料は、投資者のみなさまに「上場インデックスファンドアジアリート」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した資料です。
- 当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡します。内容务必必ずご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

## ■「FTSE EPRA/NAREIT アジア(除く日本)リート 10%キャップ指数」

FTSE インターナショナルリミテッド(FTSE)、ロンドン証券取引所(LSEG)、ユーロネクストN.V.(Euronext)、欧州不動産協会(EPRA)、全米不動産投資信託協会(NAREIT)(以上を総称して、以下、ライセンス提供者と言う)は「上場インデックスファンドアジアリート」を支持、推奨、販売、販売促進するものではなく、ライセンス提供者のいずれもFTSE EPRA/NAREIT アジア(除く日本)リート10%キャップ指数(以下、本指数と言う)を使用して得られる結果或いは将来における特定の時点のインデックス値について、明示的にも暗示的にも、いかなる保証や表明を行なうものではありません。本指数はFTSEによって編集および計算されていますが、ライセンス提供者のいずれも、過失の有無によらず、本指数の誤りに対して一切責任を負うものではなく、誤りに関して助言を行なう義務を負うものではありません。

FTSE®はロンドン証券取引所の、NAREIT®は全米不動産投資信託協会の、EPRA®は欧州不動産協会の商標であり、FTSEがライセンスに基づき使用しています。

## 日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

55年を超える実績を誇り、30以上の国・地域から集まる人材を世界11カ国・地域に擁して、200名超の運用プロフェッショナルが約20.3兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計300社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

\* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

\*\* 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2017年3月末現在のデータ

### 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会